

闘虎

No. 17
Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
平成21年 冬季号



ミスターレスリングの邂逅！

全日本マスターズレスリング選手権大会

1月18日（日）、国立青少年センターにおいて「全日本マスターズレスリング選手権大会」が行われた。年々往年の強豪選手が参加し、特にフリー74kg級はかつての全日本選手権を髣髴させるエントリー。その中で優勝したのは元全日本王者で太田倶楽部出身の小柴健二さん。84kg級は太田倶楽部監督・今村直樹さんが4連覇を達成、またグレコローマン74kg級は兄・今村浩之さんが優勝。この不滅の太田倶楽部魂を持つ「ミスターレスリング」による固い握手という、またとない光景を目の当たりにすることができた。そのほか本県の入賞者は次のとおり。

【35～40歳】◇60kg級 ③川島義弘（県レス協） ◇96kg級 ①松島秀行（邑楽jr）
【51～60歳】◇+96kg級 ①島田宏（同）
【61～64歳】◇66kg級 ②石田直見（伊勢崎スパークラズ）
【フレッシュマンズ】◇C級 ②石山浩基（県レス協）◇E級 ③勅使川原哲也（群大クラブ）

◆発行／群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集／群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第17回 藤岡北高校



取材した日は藤岡北レスリング部の卒業式でした。写真の部員が持っているのはレスリング部員用の卒業祝トロフィー。このたった3人の卒業式を見て目頭が熱くなる思いがしました。藤岡北レスリングが誕生したのは平成11年。梅山友久先生が創部しました。キャンパスを見ると館高が使用していたもので、その下のマットは前橋商業、高崎工業時代のもの。梅山先生は前商時代（S53年）、館高のインターハイ連続出場をストップさせて福島総体に団体出場を果たしています。高工時代（S52年）も県総体団体戦でやはり館高の連覇を止めた経験があります。

「定年になったら高崎市地域密着型総合スポーツクラブでジュニアレスリングを立ち上げます。藤岡・高崎地区に厚みを加えて一大拠点にしたいですね」と将来展望を語る梅山先生。このクラブでバドミントンをやっていたのが写真の長瀬昌志くん。この春から東京農大でレスリングを続行。昨年スウェーデン遠征を経験した濱田早織（写真中央）さんは就職、伊勢崎スパークラズ出身の岡本幸恵さんは栄養福祉専門学校へ進みます。元気に道場から巣立った3人を見て、「梅山将来展望」も夢ではないと感じました。

SCHEDULE

- 少年少女レスリング おおまき大会
3月15日（日）
大間々東中体育館
- JOC兼全国少年選抜大会
3月7日（土）・8日（日）
代々木第2体育館
- 全国高校選抜大会
3月27日（金）～29日（日）
新潟市体育館
- 全日本女子レスリング選手権大会
4月5日（日）
東京・駒沢公園体育館
- 群馬県高校総体
5月15日（金）～17日（日）
館林市民体育館



日野重夫さん（太田市・57歳）

レスラーの心

（思い出の言葉）

□昔の写真はないかといわれて探したけど、これしかなかったですね。左に写っているのはもちろん高田裕司だけど、何のときの写真だか、全然覚えていないですね。バックをよく見ると市民会館のようで、おそらくオリンピックかなんかの壮行会だと思っただけと昭和50年代前半。高田は私が大泉高校3年のとき入って来たんだけど、「これは強くなるな」とすぐ感じましたよ。大量離脱事件のときもクラブを成り立たせるため、私は土下座してまで部員を戻したけど、最悪でも高田一人だけは何とかしてでも残そうと思いましたね。その後の高田の活躍は皆さんの方がよくご存知でしょうが、今は日本レスリング協会の専務理事ですからね。私はモントリオールで金メダルを取ったときのシューズをもらったんですよ。どこかへ行っちゃったけど、とっておけばよかったなあ。

HERO'S IN GUNMA



今村 聖選手 (太田倶楽部)

関東甲信越大会は大きな大会ですが、「優勝しなければ!」などという気負いは特にありませんでした。いつもどおり、平常心で臨みました。その結果、優勝できたのは皆さんのおかげです。高校に行ってから目標ですか? これも大きいとは言わず、まず一人でも多く先輩たちを倒す。全中優勝ということはいい意味で忘れて、1からのスタートで頑張りたいと思います。

**着実成長の松本篤史!
全日本選手権第2位!
全日本レスリング選手権**

12月21、23日、代々木第2体育館において「天皇杯全日本レスリング選手権大会」が行われた。グレコ66キロの第一人者・笹本睦が抜けたた

田) ◆重量級 鈴木紅夏(太田)
【小学5、6年】 ◆51kg級 萩本龍(千代田) ◆57kg級 木村優太(同)
◆+57kg級 石岩寛鷹(邑楽)
【小学3、4年】 ◆24kg級 加藤征哉(館林)
【小学1、2年】 ◆32kg級 石川弘人(邑楽) ◆+32kg級 小林奏音(同)
【幼年】 ◆17kg級 加藤敦史(館林)

め、優勝候補に挙げられていた松本隆太郎(千代田jr)館高―日体大―(株)群馬ヤクルト)は2回戦で城戸義貴(自衛隊)に不覚。全日本制覇は持ち越しとなった。
しかし、隆太郎の弟で学生王者の松本篤史(千代田jr)館高―日体大3年)がフリー84キロで元全日本王者・松本真也(警視庁)を撃破し決勝進出。決勝では五輪選手・小幡邦彦に経験の違いを見せ付けられたが、隆太郎・篤史の「全日本兄弟優勝」も夢ではないことを示した。
また、フリー74キロの長島和幸(太田倶楽部)館高―早稲田大―(株)クリナップ)は2連覇を達成。健在振りをアピールした。
女子では新井明恵(富実高)が67キロで第3位に入賞。

【中学生男子】 ◆38kg級 増山郁人(千代田) ◆66kg級 栗原吹(同)
◆73kg級 鈴木海人(太田) ◆85kg級 今村聖(同)
【中学生女子】 ◆52kg級 金子和(千代田) ◆62kg級 鈴木紅夏(太田)
【小学5、6年男子】 ◆52kg級 木村優太(千代田)



攻撃レスリング! 栗原吹!

**木村優太と和がMVP
増山郁人と吹も優勝!
千代田近接少年レスリング大会**

12月7日(日)、千代田町総合体育館において「第14回千代田近接少年レスリング大会」が行われた。最優秀選手賞に輝いたのは小学生の部で木村優太、中学生の部で金子和。さらに軽量級の新星・増山郁人や全中王者で千代田のエース・栗原吹も優勝するなど、地元・千代田jr勢の活躍が目を見張った。
県内選手の優勝者は次のとおり。

1月17日(土)、明和町ふるさと産業文化館ホールで「大いなる夢・オリンピックへの挑戦」と題し、アテネ・北京五輪メダリストの伊調千春さん・馨さんと全日本女子ヘッドコーチ・栄和人さんによる講演会が開かれた。レスリングにかける思いを熱く語ってもらい、オリンピックでメダルを手にするまでの壮絶すぎる舞台裏を聞いた後は、明和クラブの子供たちが壇上に上がり記念撮影。その後の同クラブの練習に栄コーチが参加。タックル打ち込みを指導してくれた。



明和クラブの子供たちと伊調姉妹!

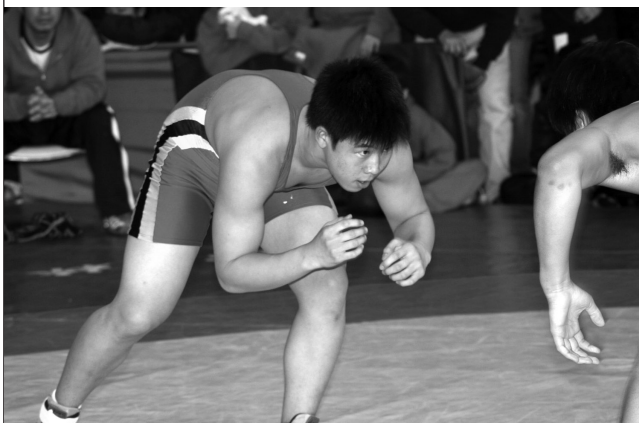
**五輪金・銀メダリスト
伊調姉妹が明和にきた!
伊調姉妹・栄コーチ講演会**

【5、6年女子】 ◆66kg級 浜岡佑帆(伊勢崎)

今村聖(太田倶楽部) 関甲信初優勝!

関東甲信越少年レスリング大会

2月22日(日)、城沼総合体育館において「第17回関東甲信越少年少女レスリング大会」が行われた。相変わらず多数の参加者があり、体育館いっぱい敷き詰められた6面マットで元気に闘った試合が展開された。その中で、太田倶楽部の今村聖が本領発揮。全中王者の意地を見せたほか、県内から4人が優勝した。
【中学・高校女子】 ◆72kg級 新井明恵(富実高)
【中学生男子】 ◆73kg級 今村聖(太田)



中学後半になってから格段に力をつけた今村聖

**群馬の選手多数入賞!
団体戦は関学準優勝!
関東高校選抜レスリング大会**

1月31日、2月1日、東京・駒沢公園体育館において「関東高校選抜レスリング大会」が行われた。団体戦では戦力充実の関学が決勝まで進出。決勝では霞ヶ浦に敗れたが、群馬代表として久々の上位となっただけに、全国選抜での一層の活躍を期待したい。
団体戦の順位と個人戦の入賞者は次のとおり。
【団体戦】 ①霞ヶ浦 ②関学附 ③八千代松陰 ④向上
【個人戦】 ◆50kg級 ③宗像海(関学) ◆55kg級 ③池田圭介(館高) ◆60kg級 ③菊井悠介(前西高) ◆66kg級 ③橋口光太郎(関学) ③板垣光生(早大本庄・大間々クラボウ) ◆74kg級 ⑤飯田将彦(関学) ◆84kg級 ③恩田和明(大泉高) ◆120kg級 ⑤竹内将美(富実高)

**好調・萩本龍MVP!
石川弘人も優秀選手!
館林市スポ少クラブ交流大会**

1月12日(月)、城沼総合体育館において「平成20年度館林市スポーツ少年団レスリングクラブ交流大会」が行われた。1ヵ月後に開催される「関甲越」の前哨戦として他県列強を迎え撃った県内クラブの中で、特に千代田jrの6年生・萩本龍と邑楽jrの2年生・石川弘人が力を発揮、最優秀選手賞、優秀選手賞をそれぞれ獲得した。
県内選手優勝者は次のとおり。



萩本龍(右)と石川弘人(左)

【中学生男子】 ◆47kg級 戸ヶ崎飛翔(館林) ◆73kg級 今村聖(太田)
【中学生女子】 ◆軽量級 大関蘭(おた) ◆中量級 木村安里(千代)

なでしこGUNMAの
レスクイーン



富岡実業高校
新井 明恵さん(2年)

私は兄(智明・拓大4年)、姉(千明・早稲田大1年)がレスリングをやっていたので、レスリングには自然に入った感じです。中学までは柔道をやっていた「レスリングも同じようなものだろう」と思っていました。でも、全然違いました。すごいハードです。でも、その分試合で勝ったときがうれしいです。来月クリッパン国際大会に出場しますが、スウェーデンに行くのは昨年に続き2度目です。昨年は外国人のすごい動きと力に圧倒されて勝てませんでした。今年は優勝できるように頑張ります。将来は清水真理子先生のように、強いレスラーになることが目標です。